2025年11月12日

各　　位

会社名　　アキレス株式会社
代表者名　代表取締役社長　　日景　一郎
（コード番号5142 東証プライム）
問合せ先　執行役員経理本部長兼財務部長
徳田　　等
（TEL　03－ 5338－ 8167）

2026年3月期第2四半期（中間期）業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2025年8月7日に公表いたしました2026年3月期第2四半期（中間期）の業績予想値と実績値に差異が生じましたので下記の通りお知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、2026年3月期通期業績予想を下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1．2026年3月期第2四半期（中間期）業績予想値と実績値との差異

（1）連結業績予想値と実績値の差異（2025年4月1日～2025年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	39,500	600	300	150	10.98
実績値（B）	38,915	1,275	1,480	1,349	98.73
増減額（B－A）	△584	675	1,180	1,199	
増減率（%）	△1.5	112.6	393.4	799.6	
（ご参考）前期第2四半期実績（2025年3月期第2四半期）	38,838	△499	△471	1,588	112.42

（2）個別業績予想値と実績値の差異（2025年4月1日～2025年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	31,500	300	500	250	18.29
実績値（B）	30,474	885	1,756	1,698	124.31
増減額（B－A）	△1,025	585	1,256	1,448	
増減率（%）	△3.3	195.3	251.4	579.6	
（ご参考）前期第2四半期実績（2025年3月期第2四半期）	30,046	△122	329	2,400	169.87

（3）差異の理由

個別業績について、売上高は、フイルムのライフサイエンス分野とエクステリア分野向け、工業資材の半導体ウエハー搬送用及び製造工程用の部材の伸長がありましたが、シューズの厳しい競争環境の継続による販売減やウレタンの寝具用の販売減の影響等により、前回予想を下回りました。利益面では、生産性の向上（コストダウン）、経費削減の徹底、価格改定の継続的な推進等に努めたことにより営業利益、経常利益、中間純利益は前回予想を大きく上回りました。

連結業績について、売上高は、上記の個別業績に加えて、海外子会社において中国・北米市場での車輌内装用資材に関する日系自動車メーカーの生産減少の影響により、前回予想を下回りました。利益面では、上記の個別業績と同様の理由により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は前回予想を大きく上回りました。

2．2026年3月期通期業績予想の修正について

（1）連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	81,000	1,500	1,300	800	58.53
今回修正予想（B）	81,000	1,800	1,750	1,450	106.10
増減額（B－A）	0	300	450	650	
増減率（%）	－	20.0	34.6	81.3	
(ご参考)前期実績(2025年3月期)	79,093	△436	△220	427	30.67

（2）個別業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	64,000	700	1,200	900	65.85
今回修正予想（B）	64,000	1,150	1,900	1,150	84.14
増減額（B－A）	0	450	700	250	
増減率（%）	－	64.3	58.3	27.8	
(ご参考)前期実績(2025年3月期)	62,705	554	1,322	1,514	108.56

（3）業績予想の修正理由

通期の連結及び個別業績予想について、売上高は、フイルムのライフサイエンス分野を中心に伸長が続くと想定し、前回予想を据え置いております。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、原材料価格・エネルギーコストの影響や米国の関税政策の影響、為替レートの大幅な変動など先行き不透明な状況が継続することが見込まれますが、2026年3月期第2四半期（中間期）の業績等を踏まえて、前回予想を上回る見通しです。

（注）上記の業績予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以　上